

# 2020年度事業委員会活動について

## 事業目的

- ◎会員の専門性を活かし、社会に貢献すること
- ◎事業活動を通じ会員の学びを深め、会員活性化に寄与すること

## 現状認識

- ◎コロナ禍時代において、私たちの活動も変化を求められており、事業の最適化・活性化に向け、本部・支部間のさらなる連携が必要。
- ◎NACS内で複数の事業が展開されるも、一元管理がされておらず、運営は各事業に委ねられている（各事業の独自性を尊重しつつ、一定の共通ルールは必要）
- ◎これまでの本部事業委員会は、一部の事業にのみ関与し、また関与する事業では自らが運営主体となり、かつ実働部隊として活動をする傾向にあった

## 今年度活動方針

1. 本部・支部間（事業委員会）の連携強化・取組みの共有による活性化
2. 全事業の実態を把握する（事業目的に合致しているかを確認）
3. 各事業共通の活動報告の実施
4. 事業受託の際のチェック体制の確立（受託方針の明確化）

### 活動計画 1

- ・各支部の活動状況の把握
- ・メール等による取組み・ノウハウの適宜共有

### 活動計画 2

- ・各事業担当者へのヒアリング実施
- ・各事業参加会員名簿作成

### 活動計画 3

- ・各事業へ活動報告を依頼（半期毎）
- ・事業毎に事業費を管理

### 活動計画 4

- ・新規事業受託・契約更新時のチェックリスト作成（次年度利用開始）

### その他

- ・事業目的に照らし改善すべき点が認められる事業があれば、2021年度に向け改善を求める
- ・新規に事業を受託する場合は、事業目的に照らし受託可否を判断のうえ、必要な事務手続きを行う

【公2】消費生活全般についての講座、セミナー等を開催して行う消費者啓発・消費者教育活動及びそのための人材育成を行う事業

(2) 消費生活に関するシンポジウム (NACS会議等)

●消費者志向経営の普及事業

- ① <オンラインNACS会議「ICTの進展と消費者志向経営」> 開催 ※昭和女子大学共催/日本消費者政策学会後援  
2020年7月18日(土) 申込者218名(参加:183名 運営・パネリスト含む) 事前アンケート110名 事後アンケート132名  
開会宣言 河上会長/消費者庁長官ご挨拶/基調講演 昭和女子大学飛田教授/パネラー:河村理事、篠原委員長、モデレーター昭和女子大学 粕谷教授/まとめ 日本消費政策学会会長 樋口氏(昭和女子大学特任教授)
- ② 予定: 個人情報保護委員会と共催で「個人情報保護セミナー」を開催予定

【公3】消費生活に関する諸問題について調査、資料収集、分析を行いその結果を社会に還元する事業

(5) その他

●消費者庁 消費者志向経営推進組織(プラットフォーム) オブザーバ

- <2020年 主な検討事項> 優良事例表彰の客観的評価軸及び評価基準/令和2年度の優良事例表彰の実施及び検証 他
- <2020年 有識者検討会>
- |     |               |      |         |
|-----|---------------|------|---------|
| 第1回 | 2020年5月22日(金) | 10時~ | オンライン会議 |
| 第2回 | 2020年6月24日(水) | 15時~ | オンライン会議 |
| 第3回 | 2020年7月14日(火) | 15時~ | オンライン会議 |
| 第4回 | 2020年8月開催(予定) |      | オンライン会議 |

●COMS見直し

- NACSの消費者志向経営度を測る指標(経済産業省受託事業として策定)  
2004年のリリースから長期間経過しているため時代に則したものに調整予定(普遍的な要素が網羅され完成度も高いため微修正)  
1件チェックリスト要望の引合いあり ※お渡し前に事業者様とオンライン会議予定(7月)

■上記実施のため、1~2ヶ月に1度定例会を開催。

2020年度 第1回 6月24日(水) 第2回 7月後半~8月中旬迄に開催予定

